

# 三友新聞

## 三井生命保険 災害支援プロジェクトに参画 「72時間支援BOX」の普及推進

三井生命保険(有)末真  
社長は、(株)ミューチュ  
アル・エイド・セオリーに  
協力し、災害支援プロジ  
ェクト「Guardian72」に  
参画する。この事業説明  
会が九月二六日、東京都  
千代田区の霞山会館で開



催された。  
同プロジェクトは、ど  
こで被災しても避難所  
に行けば誰もが受け取れる  
「七十二時間支援BOX」の  
作成・配布を中心に構築  
する災害支援システム  
でミューチュアル・エイ  
ド・セオリーが二〇一七



④「七十二時間支援BOX」、  
⑤事業説明会で  
挨拶する江口常務執行  
役員

年九月の本格運用開始を  
目指し準備を進めてい  
る。同BOXは一種二万  
円程度で販売。全国一七  
四一市町村に一、〇〇〇  
万箱を届ける計画だ。  
被災直後から三日間生  
活可能な物資を一箱に納  
めた「七十二時間支援ボ

ックスを地方自治体が事  
前に購入し、災害発生時  
に被災者全員に一人一箱  
を届ける。各自治体は同  
BOXの購入に加えて、  
企業からの寄付としても  
同BOXを受け付ける。同  
BOXは五年間有効だ  
が、一年後は海外に支援  
物資として贈る仕組みも  
検討中だ。  
具体的には、災害発生  
から一〇時間以内に提携  
物流企業が陸路搬送可能  
な被災地域の避難所等に  
同BOXを、各自治体か  
らトラックなどで搬送。  
届け先は、BOXに記載  
されたシリアルナンバー

で管理され、どの地域で  
備蓄され、災害時にどこ  
に届けられたかがスマー  
トフォンで確認できる。  
現在、このシリアルナ  
ンバーをもとに保険等の  
支援を行う仕組みを三井  
生命と検討しているほ  
か、災害発生時に同BOX  
Xを届ける方法として大  
手物流会社と検討を開  
始。さらに企業が発行す  
るポイントカードの期限  
切れ消滅ポイントを利用

し、該当企業が各自治体  
に同BOXを寄付する仕  
組みも検討中など、幅広  
い企業との連携を視野に  
協力を呼び掛けている。  
現在、各自治体では災  
害発生時に全国から届け  
られる支援物資の仕分け  
・配布・管理に多くの時間  
を要している。同プロジ  
ェクトでは、被災者が必  
要な緊急物資を迅速に届  
けることが可能となる。  
企業等の支援する側にと

っても支援の規模が見え  
る化できるなど、より有  
効な支援策となる。  
三井生命の江口浩章常  
務執行役員法人営業統括  
本部長は「当社は昨年から  
ビジネススキュービット  
というビジネスサポート  
サービスを展開している  
が、今回のプロジェクト  
では他の連携企業との  
『つなぐ』役割を果たし  
ていきたい」との認識を  
示した。